

「他の宗教を圧倒する復活」(2019. 4. 21)

それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」(ヨハネ 20:27)

復活の主イエスが私たちとともにおられ、いつも語りかけておられる！この信仰は私たちにとって絶対譲れない生命線です。だが、子供だましの途方もない作り話のようで、簡単には信じられないという人がいかに多いことでしょう。この信仰は私にとって、神様が全能であり創世記の創造記事をそのまま信じていい、と確信させてくれる根拠です。また、万事を益に変えてくださり、死後天国に導いてくださるといふ希望の保証です。



世界には孔子・釈迦・ソクラテスなど聖者・哲人と呼ばれる人が多く誕生しました。日本にも聖徳太子・親鸞・日蓮など多くの人に崇拜され尊敬されている人がいます。しかし、どの人も死んで帰ってはこなかった。だから、死後の世界について「こうだと思ふ」とは言えても、実際はわからないのです。ある人が多くの宗教を研究して、自分が到達したこの宗教こそが真実だ、と仕える王様に言った。ところが、王様は、お前が死んでよみがえったら信じようと返答し、この人はうろたえたという話があります。死んで復活された主イエスの言葉だからこそ、権威があり、真実であると受け入れていいと信じます。

その場に私が居合わせてイエス様の復活を見たわけではなのですが、いつしか素直に受け入れることができるようになりました。それは、復活を確信させる弟子達の迫力ある証言です。「わたしたちは、見たことや聞いたことを話さないではいられないのです。」(使徒 4:20) 最高法院で取り調べを受けていた時のペテロの証言です。「フェストゥス閣下、私は頭がおかしいわけではありません。真実で理にかなったことを話しているのです。」(使徒 26:25) カイサリアの法廷で、総督フェストゥスから「パウロ、お前は頭がおかしい。」とまで言われたパウロの証言です。

また、復活を確信させる弟子達の劇的変化です。主の復活の証人となった11人の使徒達のうち、10人の最後は、実に切なくしかし気高さに満ちたものだったと伝えられています。本当に主の復活を見て、触って確認した者だけがなしうる最後ではないか。そんな確信が私の内に湧き上がってきます。主イエスの復活に、ハレルヤ！